

第93期 報告書

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

目 次

株主の皆様へ.....	1
事業報告.....	4
連結計算書類.....	24
計算書類.....	27
監査報告.....	30
事業トピックス.....	33
CSR活動.....	35

証券コード 8015



丰田通商株式会社



拝啓 平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

第93期（平成25年4月1日から平成26年3月31日まで）の事業内容をご報告するにあたりまして、ご挨拶申しあげます。

この1年間の経営環境を振り返りますと、これまで世界経済の成長を牽引してきた新興国は、全体的に成長が鈍化したものの、米国経済は個人消費を中心として堅調に推移し、また欧州経済も長期低迷に底打ちの兆しが見られるようになり、先進国を中心とした緩やかな回復傾向が続きました。

一方、日本経済は、金融・財政政策の発動による家計や企業の景況感の回復により、上昇基調を維持しましたが、円高是正によるエネルギー輸入コストの増加と海外への生産移転による輸出の伸び悩みから、貿易赤字が拡大しました。

このような経営環境のもと、豊田通商グループの売上高は7兆7,432億円、経常利益は1,634億円、当期純利益は730億円となりました。

取締役社長
加留部 淳

配当に関しては、連結配当性向20～25%を目処とし、経済環境の変化や投資計画の進捗などを勘案して柔軟に対応する方針をとっており、期末配当金については、1株につき27円とすることを第93回定時株主総会にてご承認頂きました。

なお、当事業年度の1株当たりの配当金は、年間では中間配当金23円と合わせ50円となり、前事業年度の配当金に比べ6円の増配となります。

円高是正、企業のグローバル化、東南アジアをはじめとする新興国経済の成長鈍化などにより、当社を取り巻く環境が大きく変化している中、自動車分野では、生産のグローバル化と多様化する顧客ニーズへの対応を求められており、また自動車以外の分野においては、自動車関連事業に続く収益の柱を構築することが急務となっております。

このような経営環境の変化に対応するため、自動車分野においては、金属加工事業、タイヤの組み付け事業およびエレクトロニクス素材の安定供給など、既存事業の更なる拡大と深化を図るとともに、CFAO S.A.との協業を進め、アフリカでの自動車販売基盤の強化、拡大を加速してまいります。

また、自動車以外の分野では、既存の事業に加えて、有力パートナーとの共創による新機能の確保を推進いたします。当社が事業を通してこれまで培ってきたノウハウを存分に活かしながら、商品技術、市場および地域の知見を持つ有力パートナーと協働し、投資リターンの確実な確保に繋げてまいります。また、CFAO S.A.のアフリカでのネットワークを活かし、消費財市場への取り組みを強化してまいります。

一方で、使用資金とリスク資産に対する収益の効率を評価して、不採算事業のスクラップを進め、財務体質の更なる強化を図ってまいります。

当社グループをご理解いただき、ご支援くださっている株主の皆様に心より感謝申しあげますとともに、企業価値を向上させ「GLOBAL 2020 VISION」の達成を目指す当社の取り組みに対し、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申しあげます。

敬 具
平成26年6月

●当期連結業績●

当連結会計年度は、4期連続增收増益となりました。

